

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	859,761,868株	23年3月期	859,761,868株
24年3月期3Q	10,403,188株	23年3月期	672,062株
24年3月期3Q	857,769,763株	23年3月期3Q	859,131,024株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第一種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—		
24年3月期(予想)				7.00	14.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(4) 追加情報	P 8
(5) セグメント情報等	P 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 9
(7) 重要な後発事象	P 9
4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概況.....	P 10
(1) 個別業績の概要(株式会社 福岡銀行)	P 10
(2) 個別業績の概要(株式会社 熊本ファミリー銀行)	P 13
(3) 個別業績の概要(株式会社 親和銀行)	P 16
5. 補足情報:平成23年度第3四半期決算説明資料.....	別添

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年度第3四半期の我が国経済は、東日本大震災の復興需要などにより、企業マインドや個人消費に一部持ち直しの兆しがみられましたが、円高や株価低迷が長期化する中、雇用も引き続き厳しい状態が続くなど、景気先行きの不透明な状況が続きました。

金融面では、欧州債務危機問題への懸念などを背景に、円相場は円高が進行した夏場以降第3四半期を通じ1ドル70円台後半の水準で推移し、こうした円高基調を踏まえた企業業績に対する不安感から、日経平均株価は8千円台での低迷が続きました。長期金利の指標となる10年国債の利回りは、株価動向等を睨みつつ、期を通じて1.0%を挟む水準での攻防が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは平成22年度よりスタートした第三次中期経営計画「ABCプラン」の下、その基本方針である「お客様とのリレーション強化」「生産性の劇的な向上」「FFGカルチャーの浸透」「安定収益資産の積上げ」を推進してまいりました。地域金融の円滑化と事務の効率化を両立し、収益力・財務体質の強化に努めております。

当第3四半期連結累計期間の主要損益につきましては、連結経常収益は、前年同期比30億7千万円増加し、1,899億5千万円となりました。これは、国債等債券売却益を中心としたその他業務収益の増加等によるものであります。連結経常費用は、前年同期比9億3千2百万円減少し、1,459億6千5百万円となりました。

この結果、連結経常利益は、前年同期比40億1百万円増加し、439億8千4百万円となりました。連結四半期純利益は、法人税率引下げによる繰延税金資産取崩の影響等があったことから、同63億2千2百万円減少し、177億6千7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金の期末残高は、総合取引推進による預金取引の拡大に努めました結果、前年度末比1,391億円増加し、10兆9,138億円となりました。

②貸出金

貸出金の期末残高は、法人貸出金の増加を主因に前年度末比3,798億円増加し、8兆7,538億円となりました。

③有価証券

有価証券の期末残高は、安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、前年度末比350億円減少し、2兆9,329億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

(税制改正等の影響)

今般の法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴い、法人税等5,671百万円を計上しております。

なお、現在税務当局に対し、連結納税の承認申請を行っておりますが、現時点ではその影響額は明らかではございません。今後業績予想の修正が必要な場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の処理

当社及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じるにより算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
現金預け金	665,643	457,238
コールローン及び買入手形	—	260,000
買入金銭債権	69,605	63,007
特定取引資産	6,448	2,610
有価証券	2,967,970	2,932,958
貸出金	8,374,022	8,753,860
外国為替	9,157	9,655
その他資産	138,010	137,829
有形固定資産	189,137	188,566
無形固定資産	165,240	156,525
繰延税金資産	85,420	71,488
支払承諾見返	55,371	52,277
貸倒引当金	△145,499	△148,930
投資損失引当金	△127	△104
資産の部合計	12,580,400	12,936,983
負債の部		
預金	10,374,153	10,455,343
譲渡性預金	400,543	458,518
コールマネー及び売渡手形	6,139	2,014
債券貸借取引受入担保金	24,148	84,748
特定取引負債	1	1
借入金	716,300	863,267
外国為替	421	292
短期社債	10,000	10,000
社債	208,757	186,689
その他負債	93,297	114,477
退職給付引当金	582	617
利息返還損失引当金	1,080	1,095
睡眠預金払戻損失引当金	4,287	3,498
その他の偶発損失引当金	896	1,051
再評価に係る繰延税金負債	32,112	27,839
支払承諾	55,371	52,277
負債の部合計	11,928,093	12,261,735

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	103,163	103,163
利益剰余金	281,928	292,930
自己株式	△227	△3,332
株主資本合計	509,663	517,560
その他有価証券評価差額金	26,273	45,546
繰延ヘッジ損益	△7,154	△15,789
土地再評価差額金	46,251	49,904
その他の包括利益累計額合計	65,370	79,660
少数株主持分	77,272	78,027
純資産の部合計	652,306	675,248
負債及び純資産の部合計	12,580,400	12,936,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
経常収益	186,880	189,950
資金運用収益	139,882	138,698
(うち貸出金利息)	115,595	111,562
(うち有価証券利息配当金)	22,808	25,158
役務取引等収益	30,414	30,727
特定取引収益	130	216
その他業務収益	15,273	17,103
その他経常収益	1,178	3,204
経常費用	146,897	145,965
資金調達費用	18,848	18,012
(うち預金利息)	7,898	5,494
役務取引等費用	13,091	13,006
その他業務費用	646	856
営業経費	96,220	95,549
その他経常費用	18,089	18,540
経常利益	39,983	43,984
特別利益	3,339	69
固定資産処分益	95	69
償却債権取立益	3,243	—
特別損失	1,001	975
固定資産処分損	413	304
減損損失	471	671
その他の特別損失	116	—
税金等調整前四半期純利益	42,321	43,078
法人税等	16,459	23,277
少数株主損益調整前四半期純利益	25,862	19,801
少数株主利益	1,772	2,033
四半期純利益	24,089	17,767

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,862	19,801
その他の包括利益	△3,189	14,659
その他有価証券評価差額金	292	19,270
繰延ヘッジ損益	△3,480	△8,635
土地再評価差額金		4,022
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	2
四半期包括利益	22,672	34,460
親会社株主に係る四半期包括利益	20,906	32,427
少数株主に係る四半期包括利益	1,766	2,033

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)に基づき、当第3四半期連結累計期間の「償却債権取立益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、前第3四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

(株式交換にかかる事項)

当社及び当社の完全子会社である株式会社福岡銀行(以下、「福岡銀行」)は、平成23年11月28日開催の各社取締役会において、株式交換により、前田証券株式会社(以下、「前田証券」)を福岡銀行の完全子会社とすることを決定し、福岡銀行が前田証券との間で株式交換契約書を締結いたしました。

本件株式交換は、必要となる株主総会の承認及び関係当局への届出、許認可の取得等を前提として、平成24年4月1日を効力発生日として行う予定です。

①株式交換の目的

福岡銀行では平成16年12月に前田証券との間で資本関係を強化すると共に、金融商品仲介業務等に関する業務提携を通して証券ビジネス領域における総合金融サービスを提供してまいりましたが、高齢化社会の進展に加え、国内外の経済動向が不透明さを増す中で、今後、更に多様化・高度化するお客さまのニーズに木目細かくお応えするためには、更なる市場競争力の強化と経営資源の効率化を追求した新たな銀証一体のビジネスモデルの構築が必要不可欠であると判断いたしました。

本件株式交換により前田証券を完全子会社化することで、九州全域を営業基盤とする広域展開型地域金融グループの総合証券子会社としての役割がより明確になると共に、グループ戦略に従った迅速な意思決定のもと、グループ内連携の強化を通じて、より多くのお客さまに満足頂けるサービスを提供し、もって資産運用ビジネスを柱とした新たな企業価値の創造を実現することが可能になるものと考えます。

②本件株式交換の方式

本件株式交換は、福岡銀行を株式交換完全親会社、前田証券を株式交換完全子会社とする株式交換であります。

本件株式交換の対価としては、前田証券の株主の皆さまに対し、割り当てられる対価の流動性を確保すること、本件株式交換によるシナジー効果を共有する機会を提供できること等を踏まえ、いわゆる「三角株式交換」の方法によるものとし、福岡銀行の株式ではなく、その完全親会社であるふくおかフィナンシャルグループの普通株式を割り当てることといたします。

③本件株式交換に係る割り当ての内容

株式の割当て比率 前田証券普通株式1株：当社の普通株式1株

④交換比率の算定方法

株式交換比率については、その公正性・妥当性を確保するため、各社がそれぞれ別個に、福岡銀行及び前田証券から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼しました。かかる算定結果を参考に、福岡銀行及び前田証券で株式交換比率について慎重に交渉・協議を重ねた結果、③に記載の株式交換比率が妥当であるとの判断に至り、合意・決定いたしました。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、当第3四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の見積実効税率は従来の40.8%から54.0%となります。この税率変更により、法人税等は5,671百万円増加しております。

(5) セグメント情報等

当社グループは、銀行業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概況

(1) 個別業績の概要(株式会社 福岡銀行)

(百万円未満切捨て)

○平成24年3月期第3四半期の個別業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	135,136	3.4	39,465	16.5	20,697	△2.5
23年3月期第3四半期	130,644	△5.0	33,872	35.0	21,230	△34.2

2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,556,906		447,346			4.6
23年3月期	9,321,464		426,692			4.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 447,346百万円 23年3月期 426,692百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

① 四半期貸借対照表

株式会社 福岡銀行
(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
現金預け金	577,581	344,896
コールローン	63,000	260,000
債券貸借取引支払保証金	48,639	42,904
買入金銭債権	61,399	53,626
特定取引資産	6,329	2,446
有価証券	1,958,573	1,925,795
貸出金	6,363,660	6,699,845
外国為替	7,339	7,345
その他資産	98,184	101,289
有形固定資産	141,166	141,873
無形固定資産	5,324	5,491
繰延税金資産	56,392	44,411
支払承諾見返	37,066	35,142
貸倒引当金	△103,192	△108,162
資産の部合計	9,321,464	9,556,906
負債の部		
預金	7,467,934	7,497,445
譲渡性預金	348,231	335,267
コールマネー	32,443	45,160
債券貸借取引受入担保金	24,148	84,748
特定取引負債	1	1
借入金	738,297	871,118
外国為替	371	280
社債	149,257	126,689
その他負債	59,713	81,098
利息返還損失引当金	992	974
睡眠預金払戻損失引当金	3,398	2,776
その他の偶発損失引当金	803	1,015
再評価に係る繰延税金負債	32,112	27,839
支払承諾	37,066	35,142
負債の部合計	8,894,771	9,109,559
純資産の部		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,480	60,480
利益剰余金	222,773	233,333
株主資本合計	365,584	376,143
その他有価証券評価差額金	22,011	37,088
繰延ヘッジ損益	△7,154	△15,789
土地再評価差額金	46,251	49,904
評価・換算差額等合計	61,108	71,203
純資産の部合計	426,692	447,346
負債及び純資産の部合計	9,321,464	9,556,906

② 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
経常収益	130,644	135,136
資金運用収益	100,884	100,797
(うち貸出金利息)	83,606	80,781
(うち有価証券利息配当金)	16,061	18,086
役務取引等収益	22,344	22,746
特定取引収益	119	190
その他業務収益	6,342	9,450
その他経常収益	954	1,951
経常費用	96,772	95,671
資金調達費用	16,435	16,809
(うち預金利息)	5,261	3,630
役務取引等費用	11,446	11,750
その他業務費用	532	799
営業経費	56,065	55,178
その他経常費用	12,293	11,133
経常利益	33,872	39,465
特別利益	2,712	21
固定資産処分益	46	21
償却債権取立益	2,665	—
特別損失	478	654
固定資産処分損	261	159
減損損失	167	494
その他の特別損失	49	—
税引前四半期純利益	36,105	38,832
法人税等	14,875	18,134
四半期純利益	21,230	20,697

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 個別業績の概要(株式会社 熊本ファミリー銀行)

(百万円未満切捨て)

○平成24年3月期第3四半期の個別業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,825	△6.9	2,882	2.8	135	△95.4
23年3月期第3四半期	21,304	△2.6	2,803	56.0	2,923	63.6

2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円			%
24年3月期第3四半期	1,256,928		73,899			5.8
23年3月期	1,209,094		71,852			5.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 73,899百万円 23年3月期 71,852百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

① 四半期貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行
(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
現金預け金	31,151	47,362
コールローン	12,952	13,123
買入金銭債権	16	5
商品有価証券	8	—
有価証券	226,396	244,614
貸出金	886,721	902,238
外国為替	600	643
その他資産	15,581	16,202
有形固定資産	18,763	18,584
無形固定資産	3,845	2,928
繰延税金資産	16,413	14,854
支払承諾見返	7,696	7,064
貸倒引当金	△11,052	△10,693
資産の部合計	1,209,094	1,256,928
負債の部		
預金	1,087,741	1,121,475
譲渡性預金	7,922	27,724
コールマネー	15,000	—
借入金	9,950	17,010
外国為替	5	8
その他負債	6,439	7,581
睡眠預金払戻損失引当金	498	418
その他の偶発損失引当金	25	32
再評価に係る繰延税金負債	1,962	1,715
支払承諾	7,696	7,064
負債の部合計	1,137,242	1,183,029
純資産の部		
資本金	33,847	33,847
資本剰余金	33,847	33,847
利益剰余金	2,908	3,044
株主資本合計	70,603	70,738
その他有価証券評価差額金	638	2,301
土地再評価差額金	611	859
評価・換算差額等合計	1,249	3,160
純資産の部合計	71,852	73,899
負債及び純資産の部合計	1,209,094	1,256,928

② 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
経常収益	21,304	19,825
資金運用収益	17,057	16,183
(うち貸出金利息)	15,043	14,194
(うち有価証券利息配当金)	1,686	1,814
役務取引等収益	3,142	3,246
その他業務収益	1,066	174
その他経常収益	37	219
経常費用	18,500	16,942
資金調達費用	1,699	1,043
(うち預金利息)	1,408	983
役務取引等費用	1,755	1,805
その他業務費用	75	1
営業経費	12,756	12,670
その他経常費用	2,211	1,421
経常利益	2,803	2,882
特別利益	160	—
固定資産処分益	5	—
償却債権取立益	154	—
特別損失	81	57
固定資産処分損	20	31
減損損失	60	25
税引前四半期純利益	2,882	2,825
法人税等	△40	2,689
四半期純利益	2,923	135

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 個別業績の概要(株式会社 親和銀行)

(百万円未満切捨て)

○平成24年3月期第3四半期の個別業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	32,082	0.6	6,968	△8.5	4,907	△36.1
23年3月期第3四半期	31,891	△2.0	7,616	41.4	7,681	50.4

2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,184,102		118,283			5.4
23年3月期	2,152,388		110,051			5.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 118,283百万円 23年3月期 110,051百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

① 四半期貸借対照表

株式会社 親和銀行
(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
現金預け金	59,316	67,344
コールローン	13,352	30,022
商品有価証券	109	163
有価証券	782,304	764,962
貸出金	1,220,767	1,244,911
外国為替	1,217	1,666
その他資産	15,273	18,127
有形固定資産	47,534	46,564
無形固定資産	5,764	4,758
繰延税金資産	15,178	14,250
支払承諾見返	10,230	9,738
貸倒引当金	△18,659	△18,409
資産の部合計	2,152,388	2,184,102
負債の部		
預金	1,834,033	1,852,602
譲渡性預金	63,589	116,727
コールマネー	48,000	—
債券貸借取引受入担保金	48,639	42,904
借入金	19,253	26,338
外国為替	44	3
その他負債	7,609	8,136
睡眠預金払戻損失引当金	390	303
その他の偶発損失引当金	67	3
再評価に係る繰延税金負債	10,478	9,060
支払承諾	10,230	9,738
負債の部合計	2,042,337	2,065,818
純資産の部		
資本金	36,878	36,878
資本剰余金	36,878	36,878
利益剰余金	17,044	22,113
株主資本合計	90,800	95,869
その他有価証券評価差額金	5,134	7,150
土地再評価差額金	14,115	15,263
評価・換算差額等合計	19,250	22,413
純資産の部合計	110,051	118,283
負債及び純資産の部合計	2,152,388	2,184,102

② 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
経常収益	31,891	32,082
資金運用収益	22,831	22,334
(うち貸出金利息)	17,430	16,983
(うち有価証券利息配当金)	5,165	5,184
役務取引等収益	5,361	5,270
その他業務収益	3,449	3,531
その他経常収益	249	946
経常費用	24,275	25,114
資金調達費用	1,820	1,188
(うち預金利息)	1,237	884
役務取引等費用	2,573	2,646
その他業務費用	51	56
営業経費	18,111	17,587
その他経常費用	1,717	3,636
経常利益	7,616	6,968
特別利益	466	48
固定資産処分益	43	48
償却債権取立益	422	—
特別損失	553	266
固定資産処分損	135	112
減損損失	350	153
その他の特別損失	67	—
税引前四半期純利益	7,529	6,750
法人税等	△151	1,842
四半期純利益	7,681	4,907

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

平成23年度第3四半期 決算説明資料

平成24年1月30日

【 目 次 】

	ページ
1 損益の状況	
・ F F G連結（ご参考：3行単体合算）	1
・ 福岡銀行単体	2
・ 熊本ファミリー銀行単体	3
・ 親和銀行単体	4
2 資産・負債等の状況	
(1) 貸出金の状況	5
(2) 預金の状況	6
(3) 資産運用商品の状況	7
(4) 有価証券の状況	8
3 金融再生法開示債権の状況	9

平成23年12月末の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第別途開示いたします。

あなたのいちばんに。

1 損益の状況

ご参考

3行単体合算

(単位: 百万円)

	23年度 第3四半期 (9ヶ月)	22年度 第3四半期 (9ヶ月)	前年同期比	(参考) 22年度	23年度 第3四半期	
					(9ヶ月)	前年同期比
業務粗利益	154,870	153,114	1,756	201,039	147,825	1,617
資金利益	120,685	121,034	△349	161,329	120,273	△544
役務取引等利益	17,720	17,323	397	23,369	15,060	△13
特定取引利益	216	130	86	246	190	71
その他業務利益	16,247	14,626	1,621	16,093	12,300	2,102
うち国債等債券損益	10,169	8,110	2,059	7,641	10,313	2,333
経費(除く臨時処理分)	△ 92,005	93,145	△1,140	123,300	81,930	△1,754
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	62,864	59,969	2,895	77,739	65,894	3,370
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 446	1,108	△1,554	△1,701	△634	△1,980
業務純益	63,311	58,860	4,451	79,440	66,529	5,351
コア業務純益	52,695	51,858	837	70,097	55,581	1,038
臨時損益等	△19,326	△18,877	△449	△29,549	△17,213	△328
② 不良債権処理額	△ 10,927	12,750	△1,823	24,189	9,932	△885
うち償却債権取立益	1,651	—	1,651	—	1,649	1,649
(信用コスト①+②-③)	△ (10,480)	(10,615)	(△135)	(18,204)	(9,297)	(376)
株式等関係損益	△1,949	△2,985	1,036	△1,369	△779	1,901
その他臨時損益等	△6,449	△3,141	△3,308	△3,990	△6,501	△3,115
経常利益 [53,500]	43,984	39,983	4,001	49,890	49,315	5,022
特別損益	△906	2,337	△3,243	1,784	△908	△3,133
③ うち償却債権取立益	—	3,243	△3,243	4,283	—	△3,242
税引前四半期(当期)純利益	43,078	42,321	757	51,675	48,407	1,889
法人税等合計	△ 23,277	16,459	6,818	22,562	22,667	7,984
うち税率変更による影響額	△ 5,671	—	5,671	—	6,497	6,497
少数株主利益	△ 2,033	1,772	261	3,122	—	—
四半期(当期)純利益 [27,000]	17,767	24,089	△6,322	25,990	25,740	△6,095

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(注3) [] は、平成23年11月11日に公表した平成23年度通期の業績予想。

(注4) 「金融商品会計に関する実務指針(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)」に基づき、平成23年度第3四半期の「償却債権取立益」は、「臨時損益等」中の「不良債権処理額」に含めております。

業績サマリー

コア業務純益 527億円 (前年同期比+8億円)

- コア業務純益は、資金利益の減少を経費の削減等でカバーした結果、前年同期比+8億円増加し、527億円となりました。

経常利益 440億円 (前年同期比+40億円)

計画進捗率
82.2%

- 経常利益は、有価証券関係損益(株式・債券)の増加等により前年同期比+40億円増加し、440億円となりました。

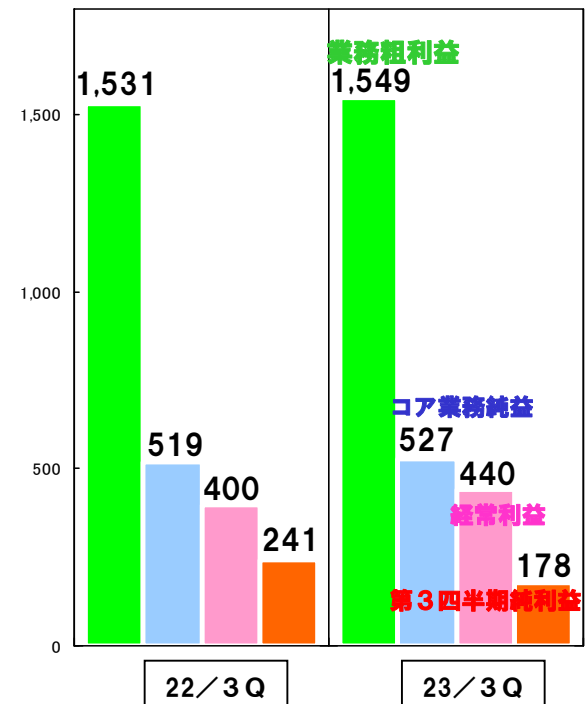
四半期純利益 178億円 (前年同期比▲63億円)

計画進捗率
65.8%

- 四半期純利益は、償却債権取立益の減少及び法人税率引下げによる繰延税金資産取崩の影響等により、前年同期比▲63億円減少し、178億円となりました。

損益の推移 (FFG連結)

(億円)



福岡銀行単体

(単位：百万円)

	23年度 第3四半期(9ヶ月)	22年度 第3四半期(9ヶ月)	前年同期比	(参考) 22年度
業務粗利益	103,825	101,276	2,549	132,838
資金利益	83,987	84,449	△462	112,625
国内部門	80,588	81,081	△493	108,113
国際部門	3,399	3,367	32	4,511
役務取引等利益	10,996	10,898	98	14,467
特定取引利益	190	119	71	226
その他業務利益	8,651	5,809	2,842	5,519
うち国債等債券損益	7,091	4,117	2,974	3,579
うち外為売買損益	1,519	1,755	△236	2,163
経費(除く臨時処理分)	△52,858	53,884	△1,026	71,137
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	50,966	47,392	3,574	61,701
① 一般貸倒引当金繰入額	△421	3,015	△2,594	1,036
業務純益	50,545	44,376	6,169	60,664
コア業務純益 【60,500】	43,875	43,275	600	58,121
臨時損益等	△11,079	△10,504	△575	△16,542
② 不良債権処理額	△7,455	6,763	692	15,818
うち償却債権取立益	1,293	—	1,293	—
(信用コスト①+②-③) 【10,000】	△(7,877)	(7,113)	(764)	(13,666)
株式等関係損益	△954	△1,818	864	1,127
その他臨時損益等	△2,669	△1,922	△747	△1,850
経常利益 【50,600】	39,465	33,872	5,593	44,122
特別損益	△632	2,233	△2,865	2,026
③ うち償却債権取立益	—	2,665	△2,665	3,188
税引前四半期(当期)純利益	38,832	36,105	2,727	46,149
法人税等合計	△18,134	14,875	3,259	19,460
うち税率変更による影響額	△2,446	—	2,446	—
四半期(当期)純利益 【29,500】	20,697	21,230	△533	26,689

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(注3) 【 】は、平成23年11月11日に公表した平成23年度通期の業績予想。

(注4) 「金融商品会計に関する実務指針(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)」に基づき、平成23年度第3四半期の「償却債権取立益」は、「臨時損益等」中の「不良債権処理額」に含めております。

業績サマリー

コア業務純益 439億円(前年同期比+6億円)

計画進捗率
72.5%

➢ コア業務純益は、資金利益の減少を経費の削減等でカバーした結果、前年同期比+6億円増加し、439億円となりました。

経常利益 395億円(前年同期比+56億円)

計画進捗率
78.0%

➢ 経常利益は、コア業務純益の増加に加え、有価証券関係損益(株式・債券)が増加したこと等から、前年同期比+56億円増加し、395億円となりました。

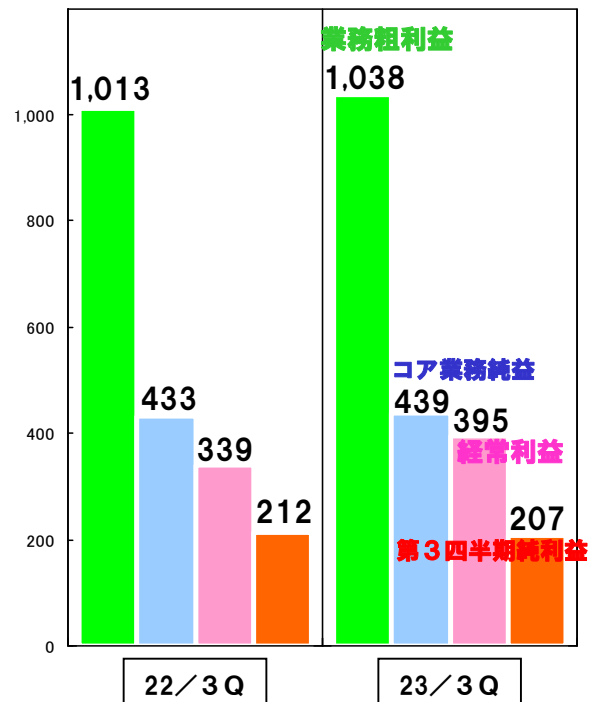
四半期純利益 207億円(前年同期比▲5億円)

計画進捗率
70.2%

➢ 上記により、税引前四半期純利益は、前年同期比増加しましたが、法人税率引下げによる繰延税金資産取崩の影響等があったことから、四半期純利益は、前年同期比▲5億円減少し、207億円となりました。

(億円)

損益の推移



熊本ファミリー銀行単体

(単位: 百万円)

	23年度 第3四半期(9ヶ月)	22年度 第3四半期(9ヶ月)	前年同期比	(参考) 22年度
業務粗利益	16,754	17,735	△981	23,361
資金利益	15,140	15,357	△217	20,400
国内部門	15,054	15,260	△206	20,272
国際部門	85	96	△11	128
役務取引等利益	1,440	1,387	53	1,897
その他業務利益	173	991	△818	1,063
うち国債等債券損益	△1	756	△757	754
うち外為売買損益	137	176	△39	224
経費(除く臨時処理分) △	11,845	12,049	△204	16,043
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	4,909	5,686	△777	7,318
① 一般貸倒引当金繰入額 △	△339	△960	621	△1,507
業務純益	5,249	6,647	△1,398	8,825
コア業務純益 【7,000】	4,910	4,930	△20	6,563
臨時損益等	△2,366	△3,843	1,477	△4,775
② 不良債権処理額 △	1,095	2,186	△1,091	2,926
うち償却債権取立益	173	—	173	—
(信用コスト①+②-③) 【1,500】 △	(755)	(1,071)	(△316)	(1,203)
株式等関係損益	△305	△811	506	△617
その他臨時損益等	△966	△846	△120	△1,231
経常利益 【3,800】	2,882	2,803	79	4,050
特別損益	△57	78	△135	△8
③ うち償却債権取立益	—	154	△154	216
税引前四半期(当期)純利益	2,825	2,882	△57	4,041
法人税等合計 △	2,689	△40	2,729	1,633
うち税率変更による影響額 △	2,121	—	2,121	—
四半期(当期)純利益 【2,100】	135	2,923	△2,788	2,407

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(注3) 【 】は、平成23年11月11日に公表した平成23年度通期の業績予想。

(注4) 「金融商品会計に関する実務指針(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)」に基づき、平成23年度第3四半期の「償却債権取立益」は、「臨時損益等」中の「不良債権処理額」に含めております。

■業績サマリー

コア業務純益 49億円(前年同期比▲0億円)

計画進捗率
70.1%

- コア業務純益は、資金利益の減少を経費の削減等でカバーした結果、前年同期比変わらずの49億円となりました。

経常利益 29億円(前年同期比+1億円)

計画進捗率
75.8%

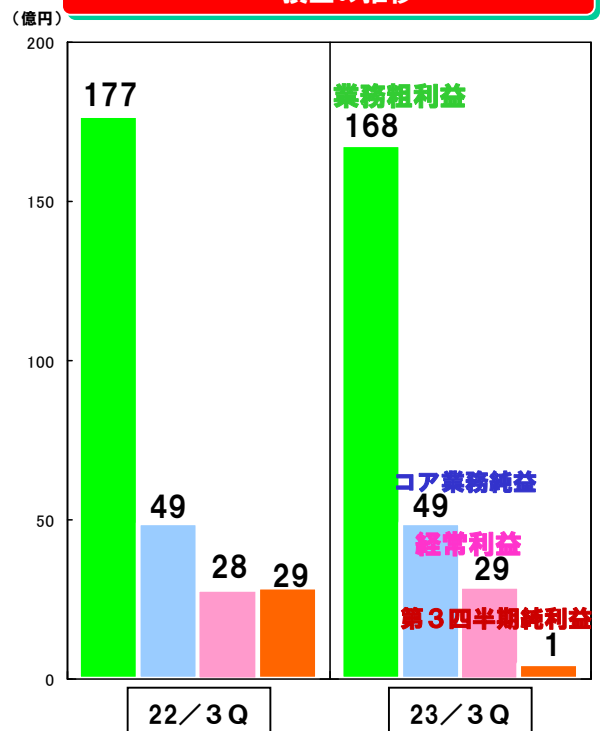
- 経常利益は、前年同期比+1億円増加し、29億円となりました。

四半期純利益 1億円(前年同期比▲28億円)

計画進捗率
6.4%

- 四半期純利益は、法人税率引下げによる繰延税金資産取崩の影響等により、前年同期比▲28億円減少し、1億円となりました。

■ 損益の推移



親和銀行単体

(単位: 百万円)

	23年度 第3四半期(9ヶ月)	22年度 第3四半期(9ヶ月)	前年同期比	(参考) 22年度
業務粗利益	27,245	27,196	49	35,256
資金利益	21,146	21,010	136	28,000
国内部門	20,997	20,669	328	27,552
国際部門	148	340	△192	447
役務取引等利益	2,623	2,787	△164	3,770
その他業務利益	3,475	3,398	77	3,485
うち国債等債券損益	3,223	3,107	116	3,133
うち外為売買損益	176	208	△32	257
経費(除く臨時処理分)	△17,225	△17,751	△526	23,526
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	10,019	9,445	574	11,729
① 一般貸倒引当金繰入額	△715	△708	△7	△1,494
業務純益	10,734	10,153	581	13,224
コア業務純益【9,200】	6,795	6,338	457	8,596
臨時損益等	△3,766	△2,537	△1,229	△3,684
② 不良債権処理額	△1,381	1,867	△486	3,009
うち償却債権取立益	182	-	182	-
(信用コスト①+②-③)【1,500】	△(665)	(736)	(△71)	(637)
株式等関係損益	480	△51	531	12
その他臨時損益等	△2,866	△618	△2,248	△687
経常利益【6,900】	6,968	7,616	△648	9,540
特別損益	△218	△87	△131	△359
③ うち償却債権取立益	-	422	△422	877
税引前四半期(当期)純利益	6,750	7,529	△779	9,180
法人税等合計	△1,842	△151	1,993	△381
うち税率変更による影響額	△1,929	-	1,929	-
四半期(当期)純利益【6,500】	4,907	7,681	△2,774	9,562

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(注3) 【 】は、平成23年11月11日に公表した平成23年度通期の業績予想。

(注4) 「金融商品会計に関する実務指針(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)」に基づき、平成23年度第3四半期の「償却債権取立益」は、「臨時損益等」中の「不良債権処理額」に含めております。

■業績サマリー

コア業務純益 68億円(前年同期比+5億円)

計画進捗率
73.9%

➢ コア業務純益は、経費の削減等により、前年同期比+5億円増加し、68億円となりました。

経常利益 70億円(前年同期比▲6億円)

計画進捗率
101.0%

➢ 経常利益は、有価証券関係損益(株式・債券)の増加があった一方、その他臨時損益等が減少(注)住宅ローン証券化による譲渡益の一括償却)したことから、前年同期比▲6億円減少し、70億円となりました。

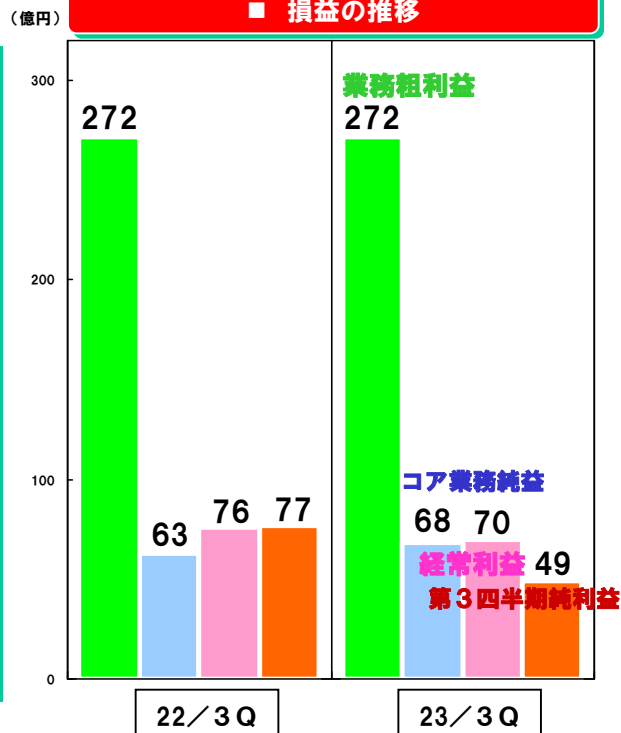
(注)平成17年度に計上した住宅ローン証券化の譲渡益について、その後の決算で毎期償却(損失処理)していたものを、今期その証券化の一部を早期償還したことに伴い、償却未済額を一括して損失処理したものを。

四半期純利益 49億円(前年同期比▲28億円)

計画進捗率
75.5%

➢ 四半期純利益は、上記に加え、法人税率引下げによる繰延税金資産取崩の影響等により、前年同期比▲28億円減少し、49億円となりました。

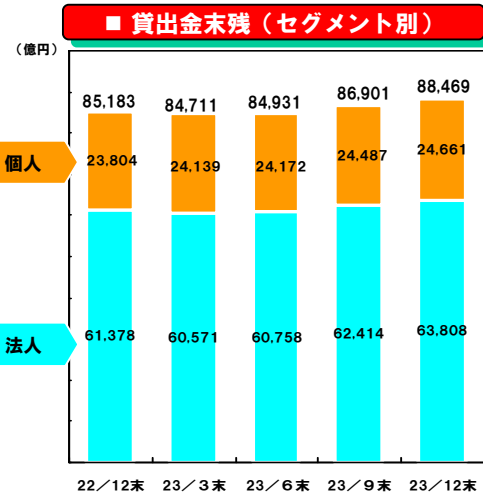
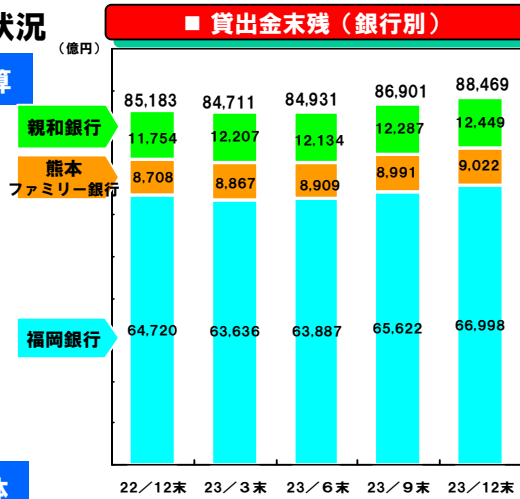
■ 損益の推移



2 資産・負債等の状況

(1) 貸出金の状況

3行単体合算



福岡銀行単体

- 総貸出金は、23/9末比+1,375億円増加し、6兆6,998億円(22/12末比+2,278億円、年率+3.5%)となりました。
- 個人部門は、23/9末比+70億円(22/12末比+491億円、年率+2.9%)、法人部門は、23/9末比+1,305億円(22/12末比+1,786億円、年率+3.7%)となりました。
- 福岡県内貸出金は、23/9末比+849億円増加し、5兆3,739億円(22/12末比+2,334億円、年率+4.5%)となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総貸出金は、23/9末比+30億円増加し、9,022億円(22/12末比+314億円、年率+3.6%)となりました。
- 個人部門は、23/9末比+29億円(22/12末比+141億円、年率+4.8%)、法人部門は、23/9末比+1億円(22/12末比+172億円、年率+3.0%)となりました。
- 熊本県内貸出金は、23/9末比+35億円増加し、8,239億円(22/12末比+319億円、年率+4.0%)となりました。

親和銀行単体

- 総貸出金は、23/9末比+161億円増加し、1兆2,449億円(22/12末比+694億円、年率+5.9%)となりました。
- 個人部門は、23/9末比+73億円(22/12末比+224億円、年率+5.8%)、法人部門は、23/9末比+87億円(22/12末比+470億円、年率+6.0%)となりました。
- 長崎県内貸出金は、23/9末比+110億円増加し、8,591億円(22/12末比+443億円、年率+5.4%)となりました。

(単位: 百万円)

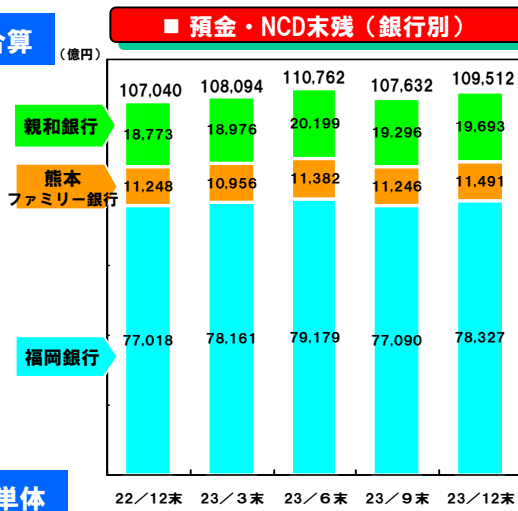
3行単体合算	23年12月末 (年率: %)				
			23/9末比	23/3末比	22/12末比
総貸出金	(3.9%)	8,846,994	156,815	375,846	328,694
個人部門	(3.6%)	2,466,166	17,392	52,205	85,709
法人部門	(4.0%)	6,380,827	139,424	323,642	242,985
ローン残高	(4.9%)	2,348,995	38,159	78,817	109,627
うち住宅ローン	(5.5%)	2,206,652	40,329	84,115	114,899
中小企業等貸出金比率	—	69.04%	0.01%	△ 0.77%	0.40%
福岡銀行単体					
総貸出金	(3.5%)	6,699,845	137,570	336,185	227,811
個人部門	(2.9%)	1,749,344	7,059	30,258	49,128
法人部門	(3.7%)	4,950,501	130,513	305,928	178,684
福岡県内貸出金	(4.5%)	5,373,926	84,928	275,349	233,473
ローン残高	(2.9%)	1,726,886	9,608	32,107	49,347
うち住宅ローン	(3.3%)	1,622,262	11,536	35,864	52,140
中小企業等貸出金比率	—	66.68%	△ 0.30%	△ 1.20%	0.44%
熊本ファミリー銀行単体					
総貸出金	(3.6%)	902,238	3,075	15,517	31,420
個人部門	(4.8%)	309,317	2,941	8,288	14,170
法人部門	(3.0%)	592,921	134	7,229	17,250
熊本県内貸出金	(4.0%)	823,923	3,538	15,193	31,975
ローン残高	(6.4%)	277,899	3,951	10,843	16,633
うち住宅ローン	(7.1%)	264,822	4,043	11,300	17,448
中小企業等貸出金比率	—	85.68%	0.36%	△ 0.52%	△ 1.58%
親和銀行単体					
総貸出金	(5.9%)	1,244,911	16,170	24,144	69,463
個人部門	(5.8%)	407,505	7,392	13,659	22,411
法人部門	(6.0%)	837,405	8,777	10,485	47,051
長崎県内貸出金	(5.4%)	859,139	11,011	8,261	44,341
ローン残高	(14.5%)	344,210	24,601	35,868	43,647
うち住宅ローン	(16.5%)	319,568	24,752	36,952	45,311
中小企業等貸出金比率	—	69.68%	1.62%	1.73%	1.62%

(注) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金(22年12月末 850億円、23年3月末 895億円、23年9月末 850億円、23年12月末 850億円)を含んでおります。

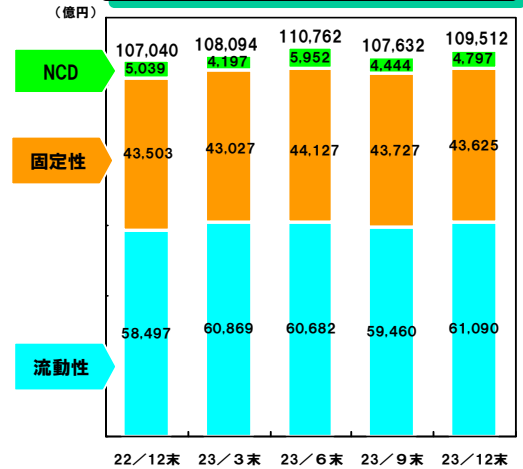
(2) 預金の状況

（株）ふくおかフィナンシャルグループ（8354）平成23年度第3四半期決算説明資料

3行単体合算



■ 預金・NCD末残（セグメント別）



福岡銀行単体

- 総資金（預金+NCD）は、23/9末比+1,236億円増加し、7兆8,327億円（22/12末比+1,308億円、年率+1.7%）となりました。
- 個人預金は、23/9末比+1,249億円（22/12末比+1,648億円、年率+3.1%）、法人預金は、23/9末比▲4億円（22/12末比+332億円、年率+1.7%）となりました。
- 福岡県内預金は、23/9末比+1,164億円増加し、7兆675億円（22/12末比+1,853億円、年率+2.7%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金（預金+NCD）は、23/9末比+245億円増加し、1兆1,491億円（22/12末比+243億円、年率+2.2%）となりました。
- 個人預金は、23/9末比+143億円（22/12末比+128億円、年率+1.5%）、法人預金は、23/9末比▲51億円（22/12末比+70億円、年率+2.8%）となりました。
- 熊本県内預金は、23/9末比+82億円増加し、1兆360億円（22/12末比+189億円、年率+1.9%）となりました。

親和銀行単体

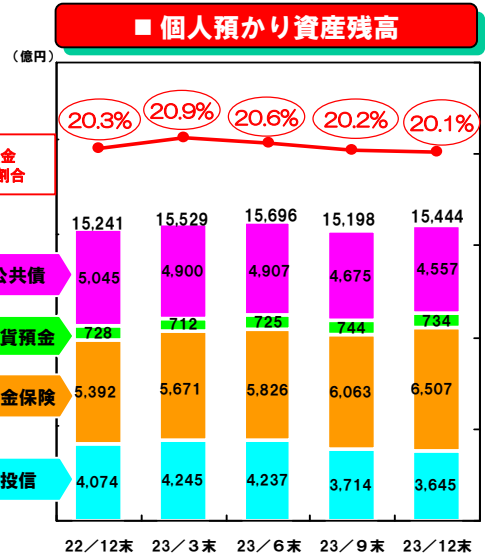
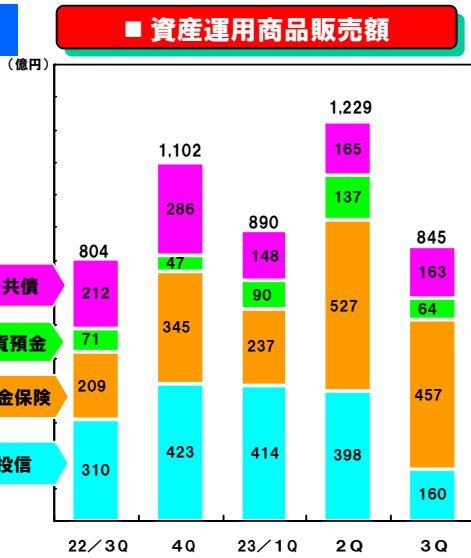
- 総資金（預金+NCD）は、23/9末比+396億円増加し、1兆9,693億円（22/12末比+919億円、年率+4.9%）となりました。
- 個人預金は、23/9末比+222億円（22/12末比+150億円、年率+1.2%）、法人預金は、23/9末比▲31億円（22/12末比+384億円、年率+7.4%）となりました。
- 長崎県内預金は、23/9末比+203億円増加し、1兆5,910億円（22/12末比+508億円、年率+3.3%）となりました。

（単位：百万円）

	23年12月末					
	(年率:%)		23/9末比	23/3末比	22/12末比	
3行単体合算	個人預金	(2.6%)	7,697,523	161,495	271,971	192,725
	法人預金	(2.9%)	2,773,997	△ 8,772	△ 190,158	78,700
	合計	(2.7%)	10,471,522	152,723	81,814	271,426
	流動性	(4.4%)	6,109,018	162,938	22,071	259,259
	固定性	(0.3%)	4,362,501	△ 10,217	59,740	12,164
総資金(預金+NCD)	(2.3%)	10,951,240	187,944	141,788	247,151	
福岡銀行単体	個人預金	(3.1%)	5,542,519	124,910	226,318	164,881
	法人預金	(1.7%)	1,954,926	△ 462	△ 196,806	33,237
	合計	(2.7%)	7,497,445	124,448	29,511	198,118
	流動性	(4.6%)	4,672,082	136,684	17,812	205,287
	固定性	(△ 0.3%)	2,825,362	△ 12,237	11,698	△ 7,170
総資金(預金+NCD)	(1.7%)	7,832,712	123,686	16,546	130,835	
福岡県内預金	(2.7%)	7,067,583	116,413	24,020	185,340	
熊本ファミリー銀行単体	個人預金	(1.5%)	861,204	14,339	20,733	12,830
	法人預金	(2.8%)	260,270	△ 5,116	13,000	7,058
	合計	(1.8%)	1,121,475	9,223	33,734	19,889
	流動性	(5.2%)	459,960	9,313	18,596	22,936
	固定性	(△ 0.5%)	661,514	△ 91	15,137	△ 3,048
総資金(預金+NCD)	(2.2%)	1,149,199	24,567	53,536	24,346	
熊本県内預金	(1.9%)	1,036,096	8,288	32,012	18,957	
親和銀行単体	個人預金	(1.2%)	1,293,800	22,246	24,920	15,014
	法人預金	(7.4%)	558,801	△ 3,194	△ 6,352	38,405
	合計	(3.0%)	1,852,602	19,052	18,569	53,419
	流動性	(3.3%)	976,976	16,941	△ 14,337	31,036
	固定性	(2.6%)	875,625	2,111	32,905	22,382
総資金(預金+NCD)	(4.9%)	1,969,329	39,691	71,706	91,970	
長崎県内預金	(3.3%)	1,591,062	20,352	12,039	50,890	

(3) 資産運用商品の状況

3行単体合算



福岡銀行単体

- 資産運用商品（投資信託、年金保険、外貨預金、公共債）の販売額は、直近四半期（23/2Q）比▲172億円減少し、588億円（前年同期比+50億円）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、23/9末比+134億円増加し、10,643億円（22/12末比+5億円、年率+0.0%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 資産運用商品（投資信託、年金保険、外貨預金、公共債）の販売額は、直近四半期（23/2Q）比▲96億円減少し、100億円（前年同期比▲8億円）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、23/9末比+50億円増加し、1,970億円（22/12末比+163億円、年率+9.0%）となりました。

親和銀行単体

- 資産運用商品（投資信託、年金保険、外貨預金、公共債）の販売額は、直近四半期（23/2Q）比▲117億円減少し、155億円（前年同期比▲2億円）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、23/9末比+63億円増加し、2,830億円（22/12末比+35億円、年率+1.3%）となりました。

	資産運用商品販売額					
	23年度第3四半期（3ヶ月）			23年度第2四半期		22年度第3四半期
	(前年同期比：%)	23年度第2四半期比	22年度第3四半期比			
3行単体合算						
投資信託	(Δ 48.1%)	160	Δ 238	Δ 150	398	310
年金保険	(118.3%)	457	Δ 70	248	527	209
外貨預金	(Δ 10.4%)	64	Δ 73	Δ 7	137	71
公共債	(Δ 23.4%)	163	Δ 2	Δ 49	165	212
合計	(5.1%)	845	Δ 384	41	1,229	804
個人預金に対する割合						
福岡銀行単体						
投資信託	(Δ 42.0%)	94	Δ 101	Δ 68	195	162
年金保険	(159.8%)	297	Δ 30	183	327	114
外貨預金	(Δ 15.3%)	45	Δ 41	Δ 8	86	53
公共債	(Δ 26.8%)	152	1	Δ 56	151	208
合計	(9.4%)	588	Δ 172	50	760	538
個人預金に対する割合						
熊本ファミリー銀行単体						
投資信託	(Δ 59.7%)	27	Δ 64	Δ 40	91	67
年金保険	(99.7%)	68	Δ 13	34	81	34
外貨預金	(Δ 50.5%)	3	Δ 18	Δ 3	21	6
公共債	(257.1%)	2	Δ 0	2	2	0
合計	(Δ 6.8%)	100	Δ 96	Δ 8	196	108
個人預金に対する割合						
親和銀行単体						
投資信託	(Δ 50.8%)	39	Δ 72	Δ 41	111	80
年金保険	(50.7%)	91	Δ 27	31	118	60
外貨預金	(30.6%)	16	Δ 14	4	30	12
公共債	(102.1%)	8	Δ 4	4	11	4
合計	(Δ 1.2%)	155	Δ 117	Δ 2	272	157
個人預金に対する割合						

(単位：億円)

	個人預かり資産残高						
	23年12月末			23年9月末	23年3月末	22年12月末	
	(年率：%)	23/9末比	23/3末比				
3行単体合算							
23年12月末	(年率：%)						
	(Δ 10.5%)	3,645	Δ 69	Δ 600	Δ 429	3,714	4,245
	(20.7%)	6,507	444	836	1,115	6,063	5,671
	(0.8%)	734	Δ 10	22	6	744	712
	(Δ 9.7%)	4,557	Δ 118	Δ 343	Δ 488	4,675	4,900
	(1.3%)	15,444	246	Δ 85	203	15,198	15,529
	-	20.1%	Δ 0.1%	Δ 0.8%	Δ 0.2%	20.2%	20.9%
福岡銀行単体							
	(Δ 14.0%)	2,373	Δ 59	Δ 476	Δ 388	2,432	2,849
	(20.9%)	3,895	298	527	673	3,597	3,368
	(Δ 0.2%)	488	Δ 16	10	Δ 1	504	478
	(Δ 6.7%)	3,885	Δ 89	Δ 227	Δ 279	3,974	4,112
	(0.0%)	10,643	134	Δ 165	5	10,509	10,808
	-	19.2%	Δ 0.2%	Δ 1.1%	Δ 0.6%	19.4%	20.3%
熊本ファミリー銀行単体							
	(6.7%)	566	5	Δ 15	36	561	581
	(21.0%)	1,133	58	136	197	1,075	997
	(Δ 4.9%)	109	Δ 1	Δ 1	Δ 5	110	110
	(Δ 28.5%)	161	Δ 12	Δ 44	Δ 65	173	205
	(9.0%)	1,970	50	77	163	1,920	1,893
	-	22.9%	0.2%	0.4%	1.6%	22.7%	22.5%
親和銀行単体							
	(Δ 9.9%)	705	Δ 15	Δ 110	Δ 77	720	815
	(19.7%)	1,477	87	172	244	1,390	1,305
	(9.8%)	136	8	13	12	128	123
	(Δ 21.9%)	511	Δ 16	Δ 71	Δ 143	527	582
	(1.3%)	2,830	63	3	35	2,767	2,827
	-	21.9%	0.1%	Δ 0.4%	0.0%	21.8%	22.3%

(注) 投資信託販売額は法人向け含む。その他は個人向けのみ。

（4）有価証券の状況 時価のあるその他有価証券の評価差額

FFG連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、23/9末比▲501億円減少し、27,770億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、23/9末比▲10億円減少し、696億円となりました。

福岡銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、23/9末比▲183億円減少し、17,697億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、23/9末比▲24億円減少し、570億円となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 時価のあるその他有価証券残高は、23/9末比▲85億円減少し、2,434億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、23/9末比+3億円増加し、35億円となりました。

親和銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、23/9末比▲201億円減少し、7,670億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、23/9末比+11億円増加し、105億円となりました。

（単位：百万円）

	23年12月末						23年9月末				
	時価	23/9末比	評価差額	23/9末比	うち評価益	うち評価損	時価	評価差額	うち評価益	うち評価損	
FFG連結	その他有価証券	2,777,055	△ 50,174	69,671	△ 1,017	80,173	10,501	2,827,229	70,688	80,210	9,521
	株式	68,274	△ 4,455	13,890	△ 4,234	21,980	8,089	72,729	18,124	24,543	6,419
	債券	2,475,206	△ 25,472	45,817	3,562	46,288	470	2,500,678	42,255	43,035	780
	国債	1,681,186	41,395	31,401	4,687	31,406	5	1,639,791	26,714	26,776	61
	地方債	33,892	2,310	984	80	988	3	31,582	904	917	12
	社債	760,127	△ 69,177	13,432	△ 1,203	13,893	461	829,304	14,635	15,341	706
	その他	233,574	△ 20,247	9,963	△ 346	11,904	1,941	253,821	10,309	12,630	2,321
福岡銀行連結	その他有価証券	1,769,740	△ 18,335	57,021	△ 2,488	64,863	7,842	1,788,075	59,509	66,856	7,347
	株式	65,887	△ 979	17,645	△ 4,053	23,164	5,518	66,866	21,698	26,046	4,348
	債券	1,472,814	2,891	29,404	1,909	29,794	390	1,469,923	27,495	28,181	685
	国債	941,682	67,331	18,876	2,738	18,881	5	874,351	16,138	16,188	49
	地方債	26,331	1,822	911	82	914	2	24,509	829	839	10
	社債	504,801	△ 66,261	9,616	△ 911	9,999	382	571,062	10,527	11,152	625
	その他	231,038	△ 20,248	9,971	△ 344	11,904	1,932	251,286	10,315	12,628	2,312
熊本ファミリー銀行単体	その他有価証券	243,407	△ 8,547	3,556	348	4,545	988	251,954	3,208	4,072	863
	株式	1,980	△ 202	△ 955	△ 150	5	960	2,182	△ 805	8	813
	債券	241,383	△ 8,344	4,514	498	4,539	24	249,727	4,016	4,063	46
	国債	188,816	△ 6,670	3,445	527	3,450	5	195,486	2,918	2,937	19
	地方債	498	1	16	2	16	-	497	14	14	0
	社債	52,068	△ 1,675	1,053	△ 30	1,073	19	53,743	1,083	1,110	27
	その他	44	0	△ 3	0	-	3	44	△ 3	-	3
親和銀行連結	その他有価証券	767,042	△ 20,157	10,593	1,161	11,036	443	787,199	9,432	9,806	374
	株式	3,542	△ 138	555	△ 70	883	328	3,680	625	891	265
	債券	761,008	△ 20,020	10,046	1,231	10,153	106	781,028	8,815	8,915	100
	国債	550,688	△ 19,266	7,227	1,498	7,274	47	569,954	5,729	5,774	44
	地方債	7,061	485	56	△ 4	57	1	6,576	60	62	1
	社債	203,258	△ 1,239	2,762	△ 262	2,821	58	204,497	3,024	3,078	54
	その他	2,491	0	△ 8	0	-	8	2,491	△ 8	-	8

3 金融再生法開示債権の状況

3行単体合算

【部分直接償却後】

■金融再生法開示債権残高

（金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります）

（単位：億円）

	23年12月末	23/9末比	23/3末比	22/12末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	259	48	43	6
危険債権	1,733	△4	91	192
要管理債権	544	7	133	87
①合計（金融再生法開示債権）	2,536	51	267	286
正常債権	86,913	1,560	3,486	2,886
②総与信残高	89,449	1,611	3,753	3,172
総与信に占める金融再生法開示債権 ①/②	2.83%	0.01%	0.19%	0.23%

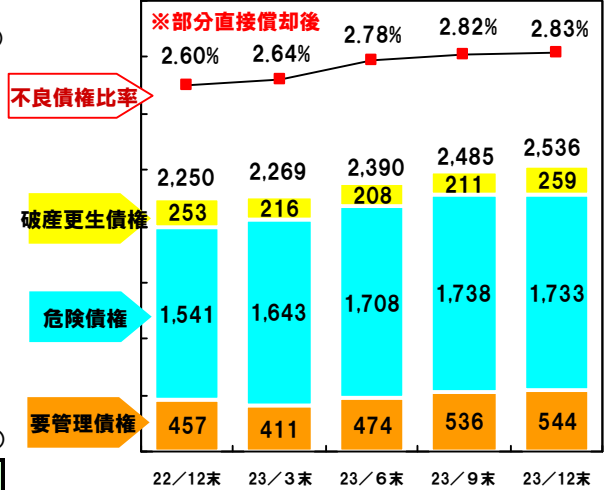
■保全率【23年12月末】

（単位：億円）

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	2,536	1,971	784	1,187	77.71%

（億円）

■金融再生法開示債権残高（3行単体合算）



福岡銀行単体

- 金融再生法開示債権は、23/9末比+36億円増加し、1,902億円（22/12末比+146億円）となりました。
- 総与信に占める金融再生法開示債権額の割合（不良債権比率）は、同▲0.01%低下し2.80%（同+0.12%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 金融再生法開示債権は、23/9末比+5億円増加し、248億円（22/12末比+59億円）となりました。
- 総与信に占める金融再生法開示債権額の割合（不良債権比率）は、同+0.05%上昇し2.70%（同+0.58%）となりました。

親和銀行単体

- 金融再生法開示債権は、23/9末比+10億円増加し、386億円（22/12末比+80億円）となりました。
- 総与信に占める金融再生法開示債権額の割合（不良債権比率）は、同+0.04%上昇し3.06%（同+0.50%）となりました。

■金融再生法開示債権残高・比率

※部分直接償却後

